

ユニバーサル タクシー 便り

第 5 卷
第 5 号

発行 三幸自動車株式会社 編集 福祉タクシー事業部 加島 達朗

「三つ指」と「タクシーの三本柱」
同僚との雑談の中で「いやあ、『ツキ指』ついて迎えられちゃったー」
「えっ？もしかして『三つ指』の間違いで？」
「最近では、『三つ指』を『お辞儀する場面は目にしない』と誤解する方が多いから、『三つ指』とは、『親指・人差し指・中指の三本の指、それを軽く畳につけてするかなり丁寧なお辞儀』の事です。と、ここで、タクシーにおける『三つ指』とは？自動ドア『ドアサービス』のことかな？ただ、『仰々しい』と恐縮される場面も結構あるようです。さて、『三つ指』ではないですが、『タクシーの三本柱』は、『安全』『迅速確実』『快適』です。同僚のM君は、8月に家族で京都旅行に行ったそうです。運転のプロなので、レンタカーを選ばず迷ったそうですが、道も案内、駐車場も探すよ、うなで、結局、観光タクシーを依頼したそうです。地元交通事情に精通し、『安全』で、土地勘があり、迷うことなく『迅速確実』で、案内付きで『快適』な、京都での貴重な時間を満喫出来たことでしょう。

タクシー余話「ああ勘違い」
(「サンコウ」と「西東京」)

話すと同じなのに、違う言葉ってありますよね。先日、**車椅子にお付添いの奥さまが、**
「運転手さん、西東京地区の三高って強いですね(高校野球のこと)」
「そうですね。打線がいいですね」

「クルマで『サンコウ』ってクルマあるの？」

「あつ、ハイ、向台です。境通りですが(自社と勘違いしている)」

「……………(奥さまの沈黙)」

「あつすいません。日大三高です。エーつと、町田市の凶師です。」

「……………(奥さまの沈黙)」

「あつ、西東京『地区』で、西東京『市』じゃないですよ」
後日、**「加島さん、日大三高、優勝しましたネ」**
「ええ、良かったですね」



玉川上水

編集雑記

7月から先輩の勧めで、仕事
が終り帰宅後しばらくして、ウ
オーキングを2時間かけて続け
るようになりました。
仕事で全く歩かない私達にと
っては大切な事です。

幸い自宅から 10分程で玉川
上水があるので、緑の中を歩く
ことが出来ます。

深さは、4m、「よくぞ、人力
で掘削したものだ」と、歩きた
びに感慨に耽ります。

1654年の4月に着工、羽
村から四谷大木戸までの約43km
を約8ヶ月で完成したというか
ら驚きです。

私が歩く玉川上水には、鯉、
ウグイ、カメが遊遊と泳いでい
ます。カメと言えば、多摩医療
センター(前の府中病院)のカ
メの池が有名ですが、こんなに
カメって泳ぐのが早いとは思
いませんでした。
ただ、青大将2m位だけは苦
手です。

加島 達朗